

2017年7月20日
株式会社日立システムズ

「イクボス企業同盟」に参加

自らの強みを最大限に生かす職場作りと多様な価値観を尊重するダイバーシティを推進

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:北野 昌宏、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、本日、NPO 法人ファザーリング・ジャパン(代表理事:安藤 哲也、東京都千代田区/以下、ファザーリング・ジャパン)が設立した「イクボス企業同盟」に加盟しました。

日立システムズは、「イクボス企業同盟」に加盟することで、「イクボス」の育成を加速させ、管理職の働き方に対する意識改革を促進するとともに、従業員一人ひとりが発想や能力を最大限に発揮し、働きがいを感じられる職場づくりをめざします。



日立システムズ内で実施した「イクボス企業同盟」調印式の様子

昨今、日本は急速な少子化と高齢化が進んでおり、日本経済を支える労働力人口が減少を続けています。政府は少子高齢化対策の一環として、「一億総活躍社会」の実現などに取り組んでいます。社会全体ではこの実現に向けて、一人ひとりの意思や能力、そして置かれた個々の事情に応じた、多様で柔軟な働き方を選択可能とする「働き方改革」の推進が求められています。

日立システムズでは「働き方改革」「健康経営」「ダイバーシティ」の推進とコミュニケーションのさらなる促進により、柔軟な働き方を拡大し、企業活力向上や生産性向上を実現することによって、多様な人財が多様な価値観を持っていきいきと活躍し、大きな成果を挙げることができる環境づくりに取り組んでいます。

昨年 11 月には、次世代育成支援対策推進法に基づく「仕事と育児の両立支援計画」の一環として、育児休暇を取得した従業員とその上長を対象とした「育児休暇復職支援セミナー」を実施するなど、「働き方改革」のキーパーソンとして新しい働き方を実践できる人財の育成に取り組んでいます。

こうした背景を踏まえ、日立システムズは、部下の育児・介護・WLB(ワーク・ライフ・バランス)を応援し、業績結果を出しながら、自らも仕事と私生活を楽しむことができる管理職を増やすためにファザーリング・ジャパンが設立した「イクボス企業同盟」に加盟しました。

今後も日立システムズは、多様な働き方を支援し、従業員一人ひとりがいきいきと最大限の能力を発揮することができる環境づくりに継続的に取り組みます。そして、いきいきと働く多彩な人財と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタライゼーションに貢献し、お客さまと共に新たな価値を創造してまいります。

■「イクボス企業同盟」の概要

「イクボス企業同盟」とは、女性活躍推進やイクメンなど社員が多様化する時代において、「イクボス^{*1}」の必要性を認識し、積極的に自社の管理職の意識改革を行って、新しい時代の理想の上司(イクボス)を育てていこうとする企業のネットワークのことです。

詳細は <http://fathering.jp/ikuboss/about/ikuboss-alliance/> をご覧ください。

*1 職場で共に働く部下・スタッフの仕事と生活の両立を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のこと。

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約 300 か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みの IT サービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタライゼーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <http://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、藤原
〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目 2 番 1 号
TEL:03-5435-5002(直通) E-mail : press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。